

令和５年度 第４回守山市健康づくり推進協議会

日時：令和６年２月２２日（木）

午後２時から午後３時まで

場所：守山市役所 多目的ホール

１ 出欠状況

（１）出席者（１０名）

岡村会長、福田副会長、間下委員、朝見委員、富田委員、藤本委員、樋上委員、遠藤委員、山本委員、藤澤委員

（２）欠席者（５名）

大谷委員、三品委員、中井委員、小林委員、北野委員

（３）事務局

健康福祉部 高橋理事、池田次長

すこやか生活課 堀江課長、川中参事、金沢係長、百田主査、阿部主査、清水歯科衛生士、大田事務員、岩波

株式会社地域計画建築研究所 廣部氏

（４）傍聴者 なし

２ 内容

（１）開会

（２）協議事項

ア 令和５年度取組実績および令和６年度取組予定

発言者	内容
事務局	資料１、資料２について説明
岡村会長	ご質問、ご意見等があればお願いしたい。
福田委員	平和堂での推定野菜摂取量測定イベントの日時や幼稚園での日時はどういう理由でこれらの日時を選んだのか。
事務局	働き世代に会える土曜日を主に選択している。市民アンケートでも、働き盛りの世代が野菜を摂取できていない結果だったので、働き世代と年代が重なるファミリー層が利用される土曜日に設定した。

	また、幼稚園については参観日に合わせて実施した。
山本委員	YouTube を用いた啓発について、好みの動画を見ていたら、再生前に広告として出てくるといった仕組みという理解でよいのか。
事務局	そのとおりである。スキップができない広告として 6 秒間の本市が作成した動画が流れるようになっている。
山本委員	SNS を通じて情報が届くような仕組みはあるのか。 市から LINE などでは情報が届いて、クリックして内容を閲覧できるようなものがあるとよい。
事務局	現状では市公式 LINE の導入ができていないが、安全安心メール等を活用し、がん啓発月間などではホームページの URL を掲載して発信している。
岡村会長	どれだけの人が動画を見て受診したかの評価が難しい。健（検）診に来られた方に動画を見て来たかの確認をすること評価を入れてもよいのではないか。特定健診などは個別の医院での受診となり、受診者がばらけてしまうことから確認をすることは難しいかと思うが、がん検診は検診実施をしている医療機関が限られていることから、検診に来た人に動画等を見たかどうかを聞くことはできるかもしれないので、今後検討をしてほしい。
樋上委員	BIWA-TEKU について、ユーザー数が開始時から 2 倍以上に増えているが、参加者数の目標値を設定しているのであれば教えていただきたい。
事務局	BIWA-TEKU 参加者の目標人数として計画最終年度の令和 17 年度までに 10,000 人という目標値を設定している。達成に向けて取り組んでいきたい。
樋上委員	BIWA-TEKU インセンティブの賞品の合計金額が 50 万円となっている。参加者には楽しんでもらえる取組だと思う。
遠藤委員	BIWA-TEKU について、来年度に作成する新しいウォーキングコースは、守山市内を歩くものとするのか。知らないところとなると、歩いた気がしない。
事務局	守山市内を巡っていただくコースを作成する予定である。市内の名所にチェックポイントを設定し、実際に赴かないとポイントが取得できないようにする予定。市内の名所などを巡りながら健康になっていただければと思っている。
朝見委員	動画広告による健診啓発についてだが、いつ頃から YouTube のみの配信としたのか。

事務局	今年度より YouTube のみとした。昨年度は Instagram と YouTube で広告掲出とした。
朝見委員	Instagram の方が効果的かと思ったが、昨年度の結果、あまり効果はなかったのか。
事務局	昨年度の動画は女性の健診啓発を実施しており、若い女性の利用が多い Instagram での啓発も実施をした。今年度の啓発動画はより幅広い年齢層を対象としたので、昨年度啓発効果の高かった YouTube に限定して啓発した。
岡村会長	BIWA-TEKU のインセンティブについては予算確保も尽力されたと感じる。本日参加委員も BIWA-TEKU をさらに利用していただけるよう、周知啓発に努めていただきたい。

(2) 第3次健康もりやま21（案）のパブリックコメントの実施結果および最終案について

発言者	内容
事務局	資料3について説明
岡村会長	ご質問、ご意見等があればお願いしたい。
藤本委員	YouTube の視聴者数について、年代別の表は 54 歳までとなっている。それ以上の年代の人は見られていないということか。
事務局	今回の説明動画については 54 歳の方まで見ていただいたという結果になる。
富田委員	パブリックコメント動画を多くの方が見ておられることに驚いた。こんなに関心があるということをして市の方は心に刻んで頑張っていかなければならない、という感想である。
藤澤委員	小学校の子どもたちにもできることがあれば教えていただきたい。未来をつくるのは子どもたちなので。
事務局	今回の計画は各ライフステージ・ライフコースに合わせた健康づくりを一つのポイントとしている。学校教育課や児童・生徒、その保護者とも連携させていただいて、健康づくりの計画を進めていけたらと考えている。
樋上委員	パブリックコメントの3つ目の意見である、企業との連携に関連して、昨年度、商工会議所青年部と市、企業のユウグレナ、滋賀大発のベンチャー企業のイヴケアが連携して、実証実験を行った。髪の毛の成分を調べると、過去3か月のストレスやストレスに対抗しようとする力がどれだけあるかを把握する取組を実施した。このよう

	な取組は健康づくりに関連している。 市長と話したら、今後はいろんな企業と実証をするような取組をしていきたいとおっしゃっていた。市も発信力があると思うので、実証実験をできたらよいと感じた。
事務局	現時点でも様々な企業と取組を行っているが、要素が増えれば増えるほど市民の興味を多く引くことができ、参加者が増えるといったイベントの盛り上がりの相乗効果を感じているところ。今後もぜひ連携させていただきたい。
山本委員	前回協議会時にも出ていたが、概要版のライフステージ別行動目標はとてもわかりやすい。パブリックコメントで好意的な意見もあった。自分が何に取り組めばいいかが市民の方に伝わればよいが、概要版を市民の方に届ける方法等はどのようなものを考えているのか。
事務局	今後、計画を推進するにあたって、育ちの世代、はたらき世代、みのりの世代別にパンフレットを作成・配布して、第3次健康もりやま21について、また健康施策について年代別に啓発したいと考えている。

(3) その他

発言者	内容
事務局	次年度以降の本協議会の委員構成について説明
岡村会長	ご質問、ご意見等があればお願いしたい。
朝見委員	健康日本21の中でも土台になっている、「自然に健康になれる」ということが重要である。私の中ではそのためには給食が一番重要だと思っているが、この概要版の中で、育ちの世代には園・学校給食があると思うが、はたらき世代となると、社員食堂での食事アプローチできないかと感じた。 質問だが、守山市で仕事をされている方のうち、守山市民の割合はどれくらいか。社員食堂にアプローチして、自然に健康になれる食事を提供にするとよいと思ったが、いかがか。
事務局	詳細なデータは手元にないが、市役所で働いている職員に関してはおおまかに半数が市内である。
朝見委員	社員食堂に予算を投じるのは難しいのか。
事務局	以前、食環境の調査をさせていただいたことがあり、市内には10箇所以上社員食堂があったが、市職員と保健所が一緒に入って、健康

	的な食事の選び方といった啓発は可能だと考えている。 給食の会社の方がおっしゃっていたのは、健康的なメニューを出しても選ばれないとの声もあった。食事の選び方の啓発が効果的かもしれない。
朝見委員	社員食堂でも、社員はとんかつやラーメンなどを選びがちというのはよくある話である。しかしそこはメニューの見せ所でもあると感じる。「自然に」が大事なので、介入や予算投入など検討していただきたい。
岡村会長	同じ給食会社が様々な企業の社員食堂業務を受託していることがある。県と連携して、働きかけるのも一つである。
遠藤委員	概要版のライフステージについて、私も職場のみんなに啓発しているが、計画や食育等について、わからない箇所がある場合、市に説明をお願いできるのか。
事務局	出前講座としてこの計画を説明させていただくことは可能であり、食育についても出前講座の実施は可能である。ご希望があればすこやか生活課で対応させていただく。 先に説明をした年代別パンフレットを作成した暁には、各団体の代表の方にも届けさせていただきたいので、配布についてご協力をお願いしたい。

(4) 閉会